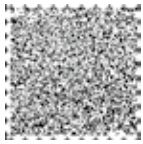


**精神障害者と社会を繋ぎ
地域で共に暮らしていく**

「精神保健福祉ボランティアサークルゆめの実」は、精神障害者に対する社会の偏見や差別をなくし、「障害を持ちながらも地域の中で生活したい」という願いを支援・サポートするサークルです。平成7年に会を設立し、精神保健福祉ボランティア講座を受講した約80名のスタッフが活動しています。

主な取り組みは毎月1回の「ゆめの実定例会」のほか、家族会や行政主催のイベントのサポート、スポーツクラブ（ソフトバレーボール大会やストレッチ講座など）の運営、そして「いこいの部屋あらた」の運営です。上荒田のビルの1階を誰もが自由に集える「ミニユニティスペース」として開放し、ランチ350円、ドリンク100円で提供しています。来店者はお茶を飲んだり、絵を描いたり、ギターを弾いたり、おしゃべりを楽しんだり、皆が

自由に
まままに
思い思
いの時



精神保健福祉ボランティアサークル **ゆめの実**



ギターに合わせて歌ったり、絵を描いたり自由に過ごす



「いこいの部屋あらた」



代表の追立香代子さん



毎年恒例のお花見会にて

間を過ごしています。オープンは毎週木曜日と土曜日、加えて第1・3火曜日。火曜日と土曜日は13時〜15時半まで。ランチが食べられる木曜日は、10時から15時半まで開放しています。

**仲間が待ってるあの部屋は
心落ち着く自分の居場所**

追立香代子さんは「ゆめの実」の代表歴10年目。子育てもひと段落つき、空いた時間を誰かのために使いたいとボランティア養成講座を受講したことがきっかけでした。「これまで触れ合うことがなかった精神障害者と接するうちに、次第に人柄や、感情、喜び、悩みなどが見えてきました。彼らと話をしていると、自分の心にも正直に向き合うことができただけです」と当時を振り返ります。

「いこいの部屋あらた」は、病院や作業所の往復だけになりがちな精神障害者と社会の繋がりを育む場所。追立さんは「この場所をきっかけに、様々な人や場との出会いが生まれています。日頃のおしゃべりやイベントなどを通して、『あなたのことを想っている仲間がここに居るんだよ!』ということをごんごん発信していきたい」と話します。

精神保健福祉ボランティアサークル ゆめの実

【問い合わせ先】いこいの部屋 あらた

TEL.099-206-5133(毎週、木、土、第1・3火のみ)

